

川學叢書

第九編

團二社支店印行

172  
9  
907

1707  
50  
9

|         |   |   |   |
|---------|---|---|---|
| 大日本教育會館 |   |   |   |
| 室       |   |   | 第 |
| 一       | 二 | 三 | 一 |
| 四       | 六 | 六 | 六 |
| 冊       | 號 | 架 | 圖 |

明治十九年四月七日内務省附付

緒言

此本ヲ撰ラハ教授ノ最モ要ナルヲナ  
 ス若シ之ヲ誤リテ徒ラ長教錯ヲ爲  
 以テ児童ヲ苦マシメ其性ヲ壞  
 ニ之ヲ厭忌スルノ念ヲ興  
 画冊ノ教授法ニ其  
 スキヲ採リ解シ難キヲ忖リ目ニ慣レタルヲ

集ノ平易簡單ナルヲ主トシテ一ニ児童ノ力ニ  
 適センコトヲ務メタリ故ニ夫ノ杜撰ニ集寫シテ  
 教授法ノ順序ヲ紊リ若クハ洋版ヲ翻刻シ  
 テ其精神ヲ失フノ類トハ識者自ラ其異ナ  
 ル所アルコトヲ知ル可シ

一 第一編ヨリ第七編ニ至ルマテ木版ヲ用ヒ  
 第八編ヨリ以下石版ヲ用ルハ初學ノモノ  
 入門ノ際ハ筆ヲ使フコト堅固ニシテ明白ナ

ラシムルコトヲ習熟セシメ、稍々運筆ノ自在ヲ得ルニ及シテ、線條ヲシテ韻致ヲ生セシメント欲スレハナリ

一此編名称ヲ掲クルモノハ、傍ラ洋語ヲ挾ミテ、臨画ノ際、傍ラ單語ヲ習熟セシメント欲ス。是又編者ノ微意ノミ

一此編頗ル外賣ヲ装フコトヲナサス專ラ簡畧ヲ主トセルハ、山村僻邑ニ至ルマテ、画學ノ切ヲシテ、洽子カラシメント欲スレハナリ

明治十九年二月

編者識

### 臨畫心得

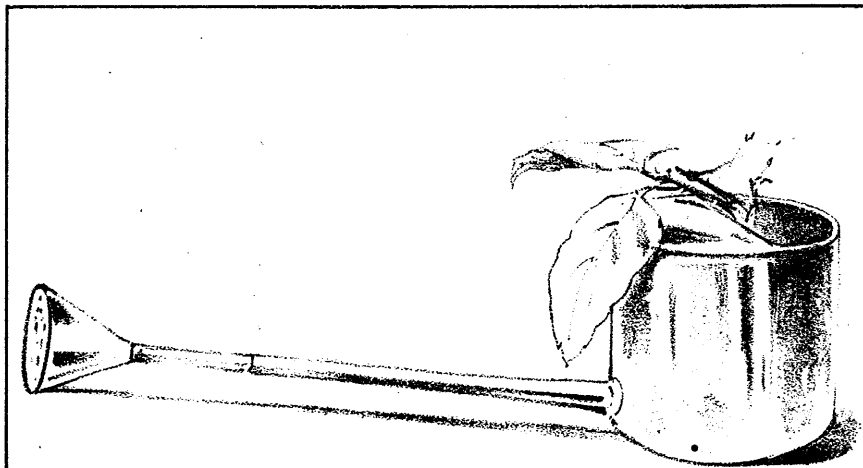
一画ヲ臨スルニハ、須ラク原本ニ模倣シテ、今毫モ違フコトアル可ラス

一画紙ハ、臨本ト同状ノモノヲ用フヘシ。若シ紙幅ヲシテ、放大ナシムルハ、畧其比例ヲ同ウスヘシ。但シ其大サヲ臨本ヨリ縮小セサルコトヲ要ス

一總テ画ヲ臨スルニハ、先ツ虚線ヲ以テ其位置形状ヲ定メ、次ニ大体ヲ組立ル所ノ諸線ヲ画キ、而テ細小ノ部ニ及ホス可シ。然レ後、彈性脂ヲ以テ一同ニ揩拭シ、僅ニ筆痕ヲ餘スヲ以テ度トナシ、然レ後、實線ヲ施スヘシ

一虚線ヲ画クニハ、其質稍々坚硬ナル鉛筆ヲ尖銳ニシ、筆ヲ使フヘテ、輕カラシメテ、麁麁或ハ彈性脂ヲ以テ揩拭シ、易カラシム可シ

一筆ヲ下タスハ、左ノ方ヨリ、始メ漸次ニ右ノ下方ニ画キ、終ルヘシ。然ラザレハ、運筆ノ際、紙面ヲ穢スニ至ル可シ

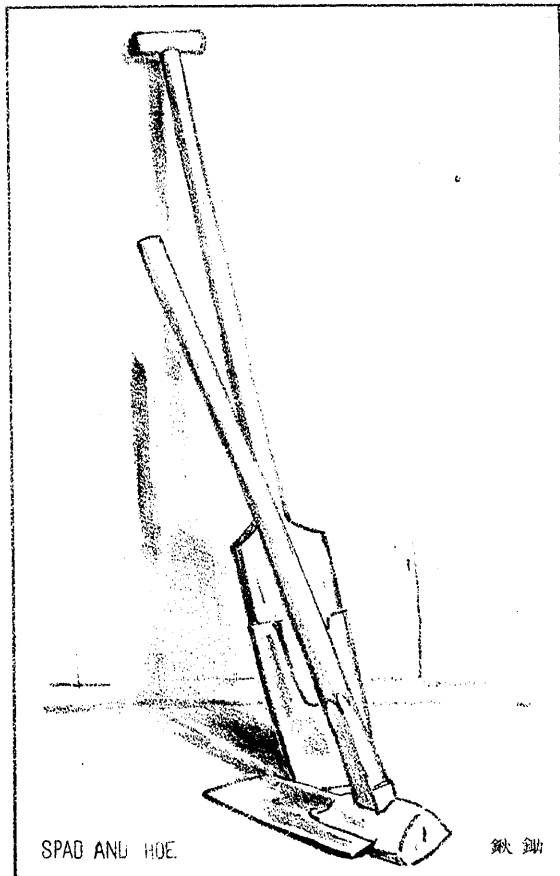


露蒸

WATER-POT

圖一第編九第

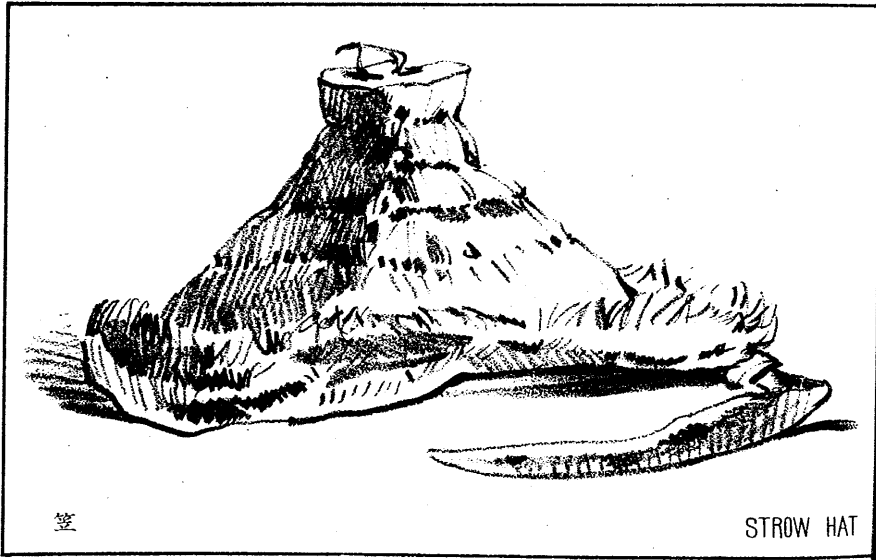
一筆ヲ執ル宜シク直立ナラシム可シ若シ之ヲ傾ケテ  
其側辺ニ於テ画クイフナセハ線條薄弱ニシテ生氣ヲ  
失フ可シ



SPAD AND HOE

鍬 鋤

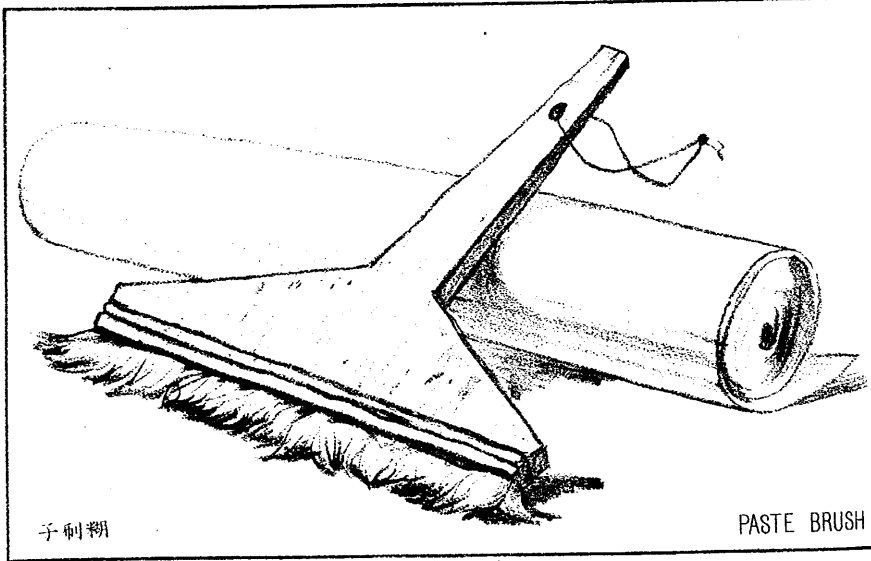
圖二第編九第



笠

STROW HAT

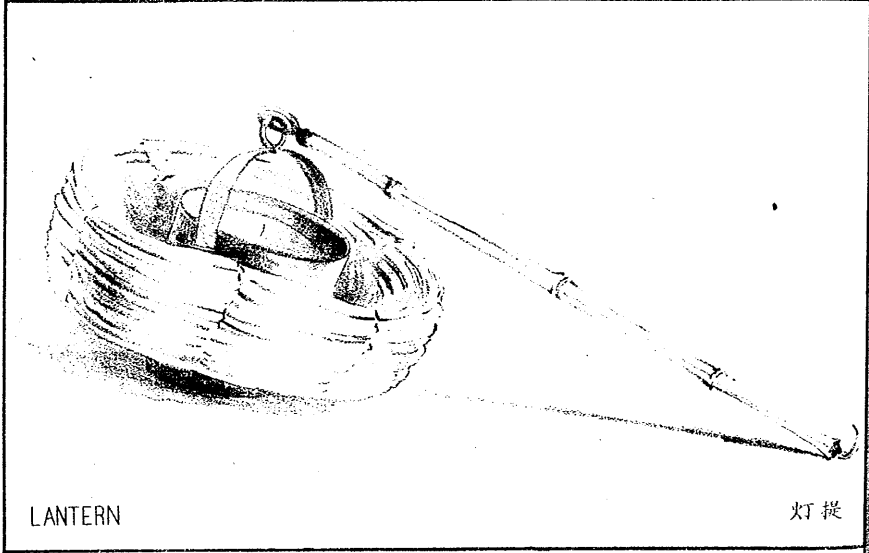
圖三第編九第



子刷糊

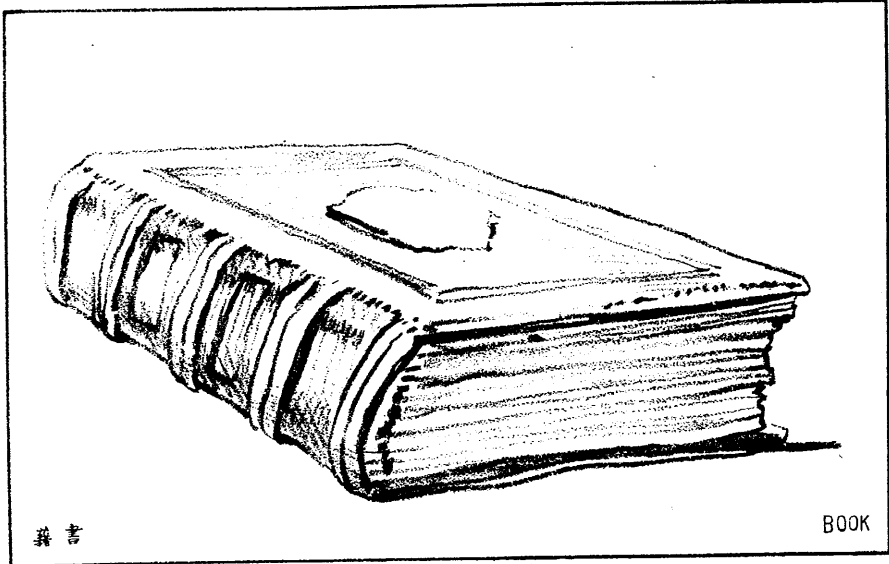
PASTE BRUSH

圖四第編九第



圖五第編九第

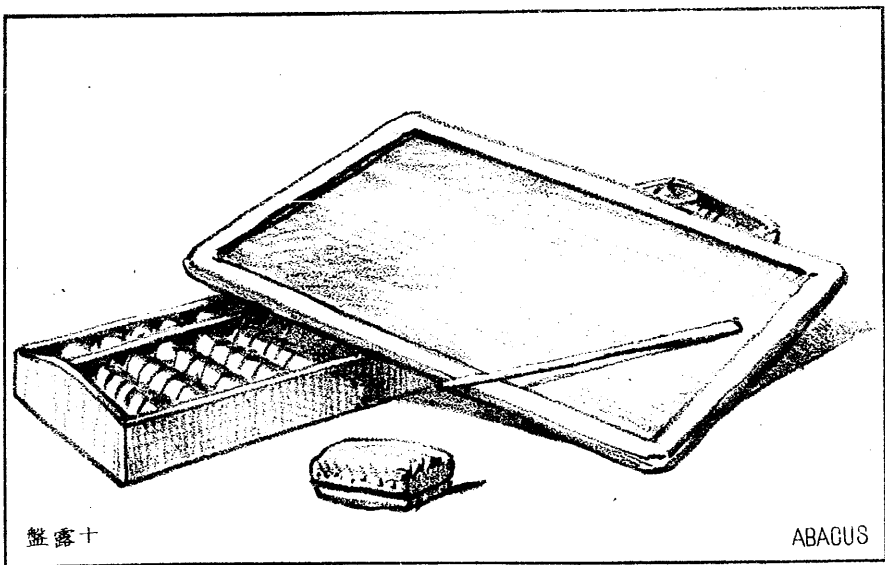




書

BOOK

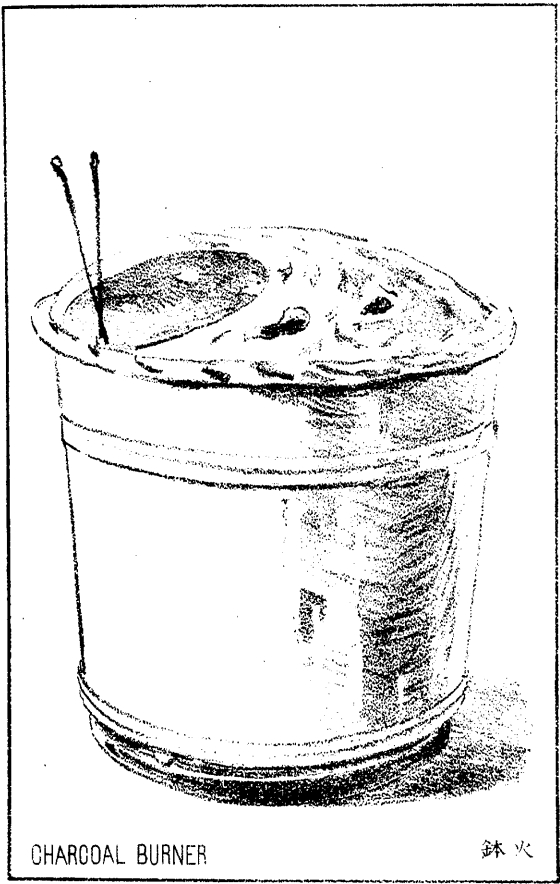
第九編第六圖



盤露十

ABACUS

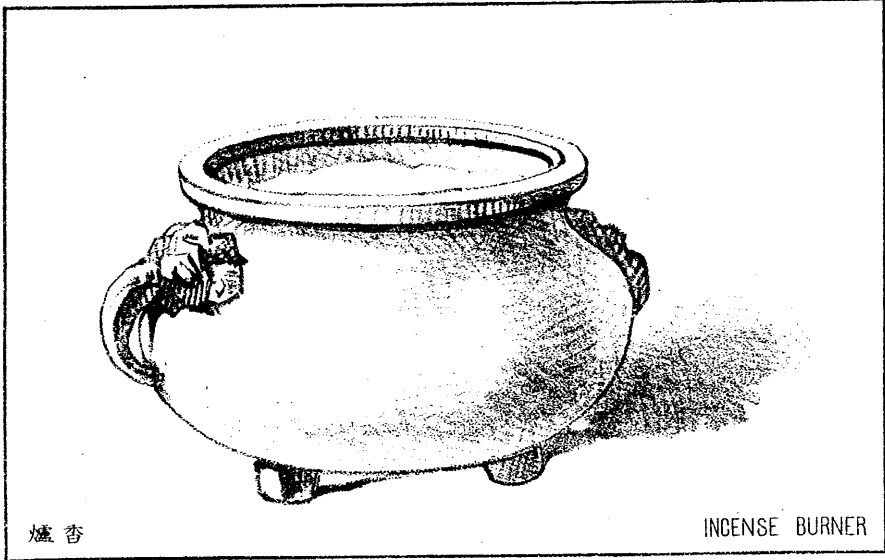
圖七第編九第



CHARCOAL BURNER

鉢火

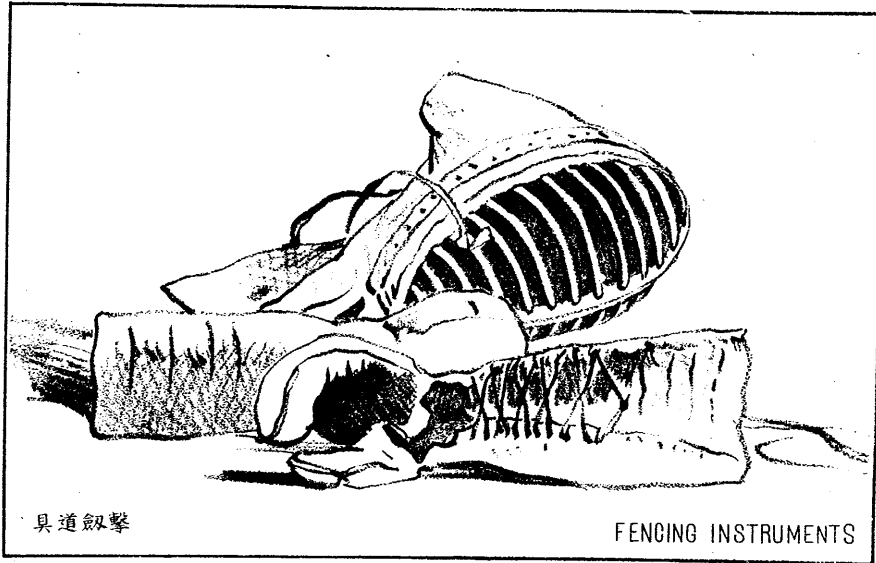
圖八第編九第



爐香

INCENSE BURNER

圖九第編九第



具道劔擊

FENCING INSTRUMENTS

圖十第編九第

K120.7

全篇目次

- 第一編 直線曲線及單形
- 第二編 紋画
- 第三編 花葉前面畧画
- 第四編 器具前面畧画
- 第五編 家屋橋梁寺前面畧画
- 第六編 器具輪廓畧画
- 第七編 今前
- 第八編 家屋橋梁寺輪廓畧画
- 第九編 器具施影畧画
- 第十編 花卉施影畧画
- 第十一編 果物施影畧画
- 第十二編 樹画畧画
- 第十三編 景色畧画
- 第十四編 今前
- 第十五編 禽獸虫魚畧画
- 第十六編 人物畧画

明治十九年一月廿三日 版權免許  
今 年四月 出版

定價金四錢

著者

東京府士族 本多 錦吉郎

出版人

全

榎本 徹之助

神田區雜子町卅二番地

芝區新小川町三丁目七番地

